



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月13日

上場会社名 株式会社新潟放送 上場取引所 東
 コード番号 9408 URL <https://www.ohbsn.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 隆夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 宮腰 尊史 TEL 025-267-4111
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	8,268	△24.6	91	△88.1	141	△82.4	144	△72.2
2020年3月期第2四半期	10,972	17.8	767	118.2	805	112.0	521	119.6

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 302百万円 (△29.6%) 2020年3月期第2四半期 429百万円 (6.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	24.16	—
2020年3月期第2四半期	87.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	23,631	18,443	69.2	2,727.72
2020年3月期	24,094	18,172	66.9	2,687.06

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 16,363百万円 2020年3月期 16,119百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	3.75	—	3.75	7.50
2021年3月期	—	3.75	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	3.75	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,050	△15.6	282	△81.8	343	△78.5	23	△96.8	3.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社（社名）- 、 除外 -社（社名）-

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	6,000,000株	2020年3月期	6,000,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,102株	2020年3月期	1,102株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	5,998,898株	2020年3月期2Q	5,998,900株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりその達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因より大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 2021年3月期の個別業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,983	△21.6	△247	—	△230	—	△38.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

*業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(会計上の見積りの変更)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
3. その他	11
継続企業の前提に関する重要事象等	11
4. (参考) 個別業績の概要	12
(1) 個別経営成績	12
(2) 個別財政状態	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界規模での感染拡大の影響により、依然として厳しい状況にあるものの、緊急事態宣言の全面解除をきっかけに経済活動が再開し始めました。感染防止を意識した新生活様式が徐々に浸透し、個人消費や企業の生産活動にも持ち直しの動きが見え始めましたが、国内外において経済を悪化させるリスクが排除しきれないため、景気の先行きは不透明な状況が続くものと認識しています。

このような状況のなかで、それぞれ異なる分野で事業活動を展開する当社グループは、各事業部門において積極的な営業活動とサービスの提供に努めましたが、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は82億6千8百万円（前年同期比75.4%）となり、前年同期に比べ27億3百万円の減収となりました。

また、利益面におきましては、営業利益は9千1百万円（前年同期比11.9%）、経常利益は1億4千1百万円（前年同期比17.6%）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益では1億4千4百万円（前年同期比27.8%）となりました。

事業の部門別の概況は次のとおりであります。

[放送事業]

放送事業におきましては、収益の柱ともいえるスポット広告が大幅に伸び悩んだことでラジオ収入・テレビ収入ともに前年同期を下回りました。その他の収入においても、新型コロナウイルスの影響でイベントの相次ぐ中止などで前年同期を大きく下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は23億8千8百万円（前年同期比74.3%）となり、営業損益では8千3百万円の損失計上（前年同期は2億3千4百万円の利益計上）となりました。

[情報処理サービス事業]

情報処理サービス事業におきましては、首都圏のシステム開発収入がコロナ禍の影響を受け伸び悩み、また機器販売の収入も消費税増税前の駆け込み需要の反動で落ち込み、減収減益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は54億5千3百万円（前年同期比73.6%）、営業利益は1億4千6百万円（前年同期比27.6%）となりました。

[建物サービスその他事業]

建物サービスその他事業におきましては、施設管理部門では、管理業務受託先の設備保守点検の見直しなどはあったものの、新規の受託先を受注したことにより増収となりました。工事管理部門では事務所ビルの照明LED化や商業施設の監視カメラデジタル化の工事などを受注し売り上げを伸ばしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6億8千5百万円（前年同期比102.1%）となり、営業利益では2千8百万円（前年同期比819.7%）となりました。

（2）財政状態に関する分析

（財政状態の分析）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は236億3千1百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億6千3百万円減少いたしました。

資産の部では、流動資産が116億3千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億1千1百万円減少しております。これは主にたな卸資産が9億7千2百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が11億7千6百万円、現金及び預金が1億6千6百万円減少したことによります。固定資産では、119億9千7百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億5千2百万円の減少となりました。これは無形固定資産が1千6百万円、投資その他の資産が1億6千6百万円増加したものの、有形固定資産が3億3千5百万円が減少したことによります。

負債の部では、流動負債が40億9千7百万円となり、前連結会計年度末に比べて5億6百万円減少しております。これは主に、賞与引当金が1億2千5百万円増加したものの、未払金が9千6百万円、未払金法人税等2億1千1百万円、リース債務1億1千9百万円、その他の流動負債が1億6千8百万円減少したことによるものであります。固定負債は10億9千万円となり、前連結会計年度末に比べて2億2千8百万円の減少となりました。これは主にリース債務が1億6千9百万円、役員退職慰労引当金が4千6百万円減少したことなどによります。

純資産の部では、利益剰余金の増加1億2千2百万円、その他有価証券評価差額金の増加1億2千万円、退職給付に係る調整累計額の増加1百万円、非支配株主持分の増加2千6百万円により184億4千3百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億7千万円増加いたしました。以上の結果、自己資本比率は69.2%となり、前連結会計年度末に比べて2.3ポイントの増加となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ1億6千6百万円減少し、当第2四半期連結累計期間末には64億5千万円となりました。当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（イ）営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得た資金は1億4千万円となりました。主な要因といたしましては、たな卸資産の増加9億7千2百万円、その他の負債の減少8億5百万円などによるキャッシュ・アウトはありましたが、売上債権の減少11億7千6百万円、税金等調整前四半期純利益2億5千万円、減価償却費4億6千万円、仕入債務の増加5億1百万円などのキャッシュ・インによるものであります。

（ロ）投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果2千9百万円のキャッシュ・インとなりました。これは主に、定期預金の預入による支出4千2百万円、有形固定資産の取得による支出8千5百万円、無形固定資産の取得による支出8千8百万円、投資有価証券の取得による支出6千2百万円などのキャッシュ・アウトはありましたが、定期預金の払戻による収入4千2百万円、無形固定資産の売却による収入4千4百万円、投資有価証券の売却による収入2億2千1百万円などによるキャッシュ・インによるものであります。

（ハ）財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は3億3千6百万円となりました。これは、主にリース債務の返済による支出3億2百万円、親会社による配当金の支払2千2百万円のキャッシュ・アウトなどによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期や影響範囲が予測できないことなどから世界経済、国内景気は不安定な状況が続いていて、企業業績の推移によって収益の柱であるテレビスポット広告の動向は、不透明感を拭い去れない状況が続くものと思われまます。

このような景気見通しのなかで、当社グループは、各事業部門において今まで以上に積極的、かつ、きめ細かな営業活動とサービスの提供に努め、収益の確保に傾注いたします。

以上の見通し及び方針に基づき、2020年9月1日に公表いたしました通期の業績予想を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,869,236	6,702,348
受取手形及び売掛金	4,150,461	2,973,583
商品	204,432	803,629
原材料	14,403	13,127
仕掛品	173,499	547,835
その他の流動資産	538,503	597,895
貸倒引当金	△5,919	△4,820
流動資産合計	11,944,617	11,633,598
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,298,899	2,251,457
土地	2,416,652	2,416,652
リース資産(純額)	1,139,050	884,945
その他(純額)	698,592	664,296
有形固定資産合計	6,553,194	6,217,352
無形固定資産	363,344	380,292
投資その他の資産		
投資有価証券	2,765,906	2,885,988
退職給付に係る資産	1,449,280	1,551,122
繰延税金資産	458,633	406,796
その他の投資及びその他の資産	586,107	581,864
貸倒引当金	△26,296	△25,864
投資その他の資産合計	5,233,632	5,399,907
固定資産合計	12,150,170	11,997,551
資産合計	24,094,788	23,631,150

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
未払金	2,555,232	2,458,895
短期借入金	375,800	378,800
リース債務	547,729	427,847
未払法人税等	275,282	64,079
賞与引当金	418,354	543,424
その他の引当金	48,200	10,500
その他の流動負債	382,837	213,879
流動負債合計	4,603,435	4,097,426
固定負債		
長期借入金	24,700	19,300
役員退職慰労引当金	119,770	73,321
退職給付に係る負債	215,241	210,619
リース債務	905,674	736,190
その他の固定負債	53,287	51,239
固定負債合計	1,318,672	1,090,669
負債合計	5,922,108	5,188,096
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	5,750	5,750
利益剰余金	15,793,569	15,915,996
自己株式	△805	△805
株主資本合計	16,098,515	16,220,942
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,968	155,360
退職給付に係る調整累計額	△14,103	△13,016
その他の包括利益累計額合計	20,864	142,343
非支配株主持分	2,053,299	2,079,768
純資産合計	18,172,680	18,443,054
負債純資産合計	24,094,788	23,631,150

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
売上高	10,972,359	8,268,773
売上原価	7,998,248	6,144,074
売上総利益	2,974,111	2,124,699
販売費及び一般管理費	※ 2,206,811	※ 2,033,570
営業利益	767,299	91,128
営業外収益		
受取利息	1,474	3,378
受取配当金	39,139	40,227
受取賃貸料	5,054	4,850
有価証券売却益	—	18
その他	7,615	11,772
営業外収益合計	53,284	60,248
営業外費用		
支払利息	8,850	6,449
有価証券売却損	—	1
その他	6,308	3,570
営業外費用合計	15,159	10,020
経常利益	805,424	141,356
特別利益		
固定資産売却益	55	—
投資有価証券売却益	75,696	113,797
特別利益合計	75,752	113,797
特別損失		
固定資産除却損	0	899
投資有価証券売却損	58	1,116
投資有価証券評価損	—	2,224
特別損失合計	58	4,240
税金等調整前四半期純利益	881,118	250,913
法人税等	232,129	70,125
四半期純利益	648,988	180,788
非支配株主に帰属する四半期純利益	127,003	35,865
親会社株主に帰属する四半期純利益	521,985	144,922

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
四半期純利益	648,988	180,788
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△225,054	120,299
退職給付に係る調整額	5,475	1,086
その他の包括利益合計	△219,579	121,386
四半期包括利益	429,408	302,175
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	302,600	266,401
非支配株主に係る四半期包括利益	126,808	35,773

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	881,118	250,913
減価償却費	483,539	460,574
製品保証引当金の増減額（△は減少）	△17,100	△17,900
賞与引当金の増減額（△は減少）	124,701	105,270
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	13,182	△46,449
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△860	△1,530
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	△120,510	△100,277
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△6,561	△4,622
受取利息及び受取配当金	△40,613	△43,606
支払利息	8,850	6,449
有価証券売却損益（△は益）	—	△17
固定資産除却損	0	899
固定資産売却損益（△は益）	△55	—
投資有価証券売却損益（△は益）	△75,637	△112,681
投資有価証券評価損益（△は益）	—	4,659
売上債権の増減額（△は増加）	140,219	1,176,878
たな卸資産の増減額（△は増加）	△624,416	△972,257
その他の資産の増減額（△は増加）	△30,681	△54,608
仕入債務の増減額（△は減少）	996,648	501,561
その他の負債の増減額（△は減少）	△788,871	△805,883
小計	942,949	347,372
利息及び配当金の受取額	40,613	43,606
利息の支払額	△8,922	△6,444
法人税等の支払額	△165,548	△244,430
営業活動によるキャッシュ・フロー	809,092	140,103
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△43,000	△42,000
定期預金の払戻による収入	42,000	42,000
有価証券の売却による収入	—	17
有形固定資産の取得による支出	△114,081	△85,367
有形固定資産の売却による収入	828	—
無形固定資産の取得による支出	△371,346	△88,800
無形固定資産の売却による収入	50,853	44,710
投資有価証券の取得による支出	△92,181	△62,195
投資有価証券の売却による収入	143,743	221,533
差入保証金の差入による支出	△2,686	△6,043
差入保証金の回収による収入	3,841	2,046
その他の支出	△3,378	△1,284
その他の収入	—	4,736
投資活動によるキャッシュ・フロー	△385,406	29,353

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	3,000	3,000
長期借入金の返済による支出	△65,400	△5,400
リース債務の返済による支出	△93,268	△302,201
自己株式の取得による支出	△70	—
配当金の支払額	△22,509	△22,439
非支配株主への配当金の支払額	△11,079	△9,305
財務活動によるキャッシュ・フロー	△189,327	△336,345
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	234,357	△166,887
現金及び現金同等物の期首残高	5,952,859	6,617,236
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 6,187,217	※ 6,450,348

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の影響について）

前連結会計年度末に仮定した新型コロナウイルス感染症の影響については、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	放送事業	情報処理サ ービス事業	建物サービ スその他事 業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,184,420	7,358,981	428,958	10,972,359	—	10,972,359
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	31,206	46,121	242,663	319,992	△319,992	—
計	3,215,626	7,405,103	671,621	11,292,351	△319,992	10,972,359
セグメント利益	234,982	529,187	3,445	767,615	△316	767,299

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	放送事業	情報処理サ ービス事業	建物サービ スその他事 業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,358,610	5,419,604	490,558	8,268,773	—	8,268,773
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	29,889	33,821	195,089	258,800	△258,800	—
計	2,388,500	5,453,426	685,647	8,527,573	△258,800	8,268,773
セグメント利益又はセグメント損 失(△)	△83,701	146,050	28,239	90,588	540	91,128

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4.（参考）個別業績の概要

(1) 個別経営成績

2021年3月期第2四半期の業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	2,388	△25.7	△83	—	△17	—	86	△72.0
2020年3月期第2四半期	3,215	△2.3	234	44.4	294	32.4	309	60.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	14.44	—
2020年3月期第2四半期	51.66	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
2021年3月期第2四半期	12,847	11,845
2020年3月期	12,794	11,660